

事業者向け 平成30年度放課後等デイサービス評価表（公表）

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	①	利用者定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	4	2		適切である。外遊び等は公園等を活用している。
	②	職員の配置数は適切であるか	4	2		配置数は適切である。利用児童の状況に合わせて職員体制を検討していく。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	3	3		一部（畳スペース）段差がある。職員が手を添え支援している。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	4	2		法人研修により全職員が毎年取り組んでいる。
	⑤	保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか				H30.6開所のため、今回、初めてのアンケートを実施した。結果を業務改善につなげていく。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか				H30.6開所のため、今年度より公開する。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			6	今年度スタートしたばかりなので、早急に検討していく。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	6			法人の内部研修他外部の研修にも参加している。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	6			アセスメント、課題の整理を行い、計画作成会議を経て作成している。職員間の支援内容の共有をさらに深めていく。
	⑩	子どもの適正行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか			6	今後検討していく。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	5	1		職員会議にて意見を出し合い立てている。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	5	1		季節や月ごとの行事や子どもたちの希望も取り入れながら工夫している。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	6			個別支援計画に沿い、子どもたちに無理のかからない範囲で設定している。休日や長期休暇では、外出（社会体験）や調理活動などを多く取り入れている。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	6			個々の児童の目標に沿い、適宜に組み合わせている。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	6			朝のミーティング時、および支援開始前に確認している。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	6			職員間で振り返りを行いながら、ケース記録入力を行っている。

	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6			利用の日は必ず記録し、支援に生かすようにしている。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	6			定期的（必要に応じて随時）にモニタリングを実施、計画の見直しにつなげている。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	5	1		基本活動のア.自立支援を主とし イ.創作活動 エ.余暇の提供を組み合わせている。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	6			児発管が参加し、必要時には担当職員も同席している。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	5	1		年間計画、行事予定（下校時刻含）などは、保護者の方、もしくは直接学校からいただいている。不明な点があれば電話で確認したり、学校からも連絡をいただいている。送迎時の情報共有を心がけている。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか				現在は該当ケースなし。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	5	1		相談支援事業所を通し、情報をいただいている。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供しているか				相談支援事業所を通して情報を提供する。今年度初めて移行ケースあり。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか			6	今後、連携させていただき、助言や研修を受けたいと考えている。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			6	交流の機会の設定はしていないが、公園や図書館での活動を取り入れている。
	㉗	（地域自立支援）協議会への積極的に参加しているか	4	2		自立支援協議会児童支援部会に参加している。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6			送迎時や連絡帳などで伝え合い、共通理解に努めている。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか			6	保護者から要望があれば、今後対応できるよう努めていく。
保護者への説明責任等	⑳	運営規定、支援内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	5	1		契約時に説明している。必要時において質問にお答えしている。
	㉑	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	4	2		相談の要望があれば、職員が対応している。傾聴姿勢を心掛け支援に努めている。
	㉒	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			6	就労している保護者も多く、負担を考え組織化はしていない。親子行事やサロン等要望があれば検討していく。
	㉓	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6			重要事項説明書に当事業所の窓口のほか、法人の第三者委員、他の相談機関について記載している。事業所内に「ご意見箱」を設置している。

	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	4	2		「大げやきだより」「活動プログラム」を毎月発行している。活動内容を主としているが、情報の発信源として内容を吟味していく。
	③⑤	個人情報に十分注意しているか	6			内部研修も行き、周知徹底している。
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	5	1		個々に応じ、伝達方法を工夫、配慮している。
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	3	3		同法人内の事業所開催の交流会に参加している。地域に開かれた事業企画について今後検討していく。
非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	4	2		マニュアルはファイリングしており、職員には周知しているが、保護者周知に向け、方法を検討していく。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	6			概ね月1回、様々な想定、方法で行っている。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6			研修を受けた職員により伝達研修を実施している。職員会議でも議題に挙げている。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	5	1		対象の児童、保護者には、ご説明し了承を得ている。記載については、今後適切に対処していく。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	6			医師の指示を保護者よりお聞きし対応している。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	5	1		職員会議で取り上げ、情報を共有し事故防止に努めている。

放課後等デイサービス大げやき

平成31年2月実施